



政治のホンマを伝えるチラシ

レオナンデス通信

www.nakanishireo.com/ 平成25年1月～3月号 発行:中西レオ応援団

議案第101号 明石駅前南地区の再開発計画に関する明石市住民投票条例制定のこと

会派	政和会						公明党						真誠会			市民クラブ			次世代明石		民主連合		日本共産党		日本新党 明石					
議員名	樽谷 彰人	辰巳 浩司	坂口 光男	大西 洋紀	出雲 晶三	井藤 圭端	尾倉 あき子	国出 拓志	絹川 和之	佐々木 敏	松井 久美子	梅田 宏希	寺井 吉広	三好 宏	穂原 成人	山崎 雄史	深山 昌明	北川 貴則	永井 俊作	遠藤 恒司	中西 礼皇	新田 正彦	木下 康子	宮坂 祐太	富田 賢治	尾仲 利治	西川 あゆみ	楠本 美紀	辻本 達也	千住 啓介
期数	1	2	2	4	4	4	2	2	3	3	4	5	1	2	2	3	2	4	5	8	2	3	4	1	7	7	1	1	3	2
賛否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	退	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	退	×	○	○	○	×	

賛成：8 反対：19 退席：2 (議長は採決に加わりません)

結果、否決

明石駅前再開発に対して住民投票を求める市民の声は2万筆を超え、市長により『再開発も住民投票も賛成』という意見を付されて臨時議会に提案。審議の結果、議会は8対19で否決という結論となりました。

反対議員の分まで

「中西さん、なんで反対する議員ばかりなんですか!」と、何人に聞かれたことでしょうか。いくら私が代わりに説明したところで、最終的には「反対してる議員に聞いてください」と答えるしかありませんでした。

選挙の際に「市民の声を市政に反映させます」と言われる候補がたくさんいます。直接市民の声を反映させる方法が住民投票でしょう。私としては、反対する理由がありません。

すでに再開発の是非ではない

議会審議の中で、「再開発は必要である、だから住民投票は必要ない」という意見が述べられました。住民投票をすれば、はじめから結果が明らかだと言わなければなりません。

この度は、「住民から住民投票が提案されたら実施する」という意味の条例を作っておきながら、何人が求めたら実施するかなど具体的な条例を定めてこなかった議会にも大きな責任がありました。これに引き合わずに、再開発の是非から脱し得なかったことは大変残念でした。

すでに手遅れは理由にならない

「住民投票を行うにはもう遅い」「もっと早く声を上げることができた」という意見は反対の理由になりません。

なぜなら、タイミングが遅くても、そのリスク(既に投下したお金や、信用を失う)も考慮した上で、住民が賛否を出すからです。再開発推進議員は、住民投票の場で、「今」再開発を中止をするリスクについて、市民に説明し、理解を勝ち取れば良いのです。

議会不要論のまちがい

「再開発を議会が決められないなら、議会の存在価値が無い」という意見がありました。

日常の意思決定は市が行います。金額の大きな契約や、条例の制定改廃などは議会が決定します。住民投票は、個別の案件について、市や議会の決定にストップをかけて住民が自ら投票で決めようとするものであり、イレギュラーです。なので、議会不要論は筋違い。むしろ、住民がストップをかけているのに押し切る議会に問題があるでしょう。

議員の役割や住民参画、条例の解釈や立法趣旨など、議論のポイントが多い臨時議会でした。

明石市議会議員

中西レオの活動報告